

【許可地域における基準の概要(主要な種類)】

種類			面積	高さ・幅等	その他の要件
広告塔	路上広告塔	-11-	-	高さ=2m 以下 幅=高さの 1/3 以下	-
	屋上広告塔	(4. 5)	-	高さ=建築物の高さの 1/3 以下、上 端高さが地上より 46m 以下 幅=高さの 1/3 以下	永久構造物
	一般広告塔		-	高さ=30 以下(木造は 10m 以下) 幅=高さの 1/3 以下	道路の交差点から 20m以上はなれ た箇所に設置
軒下広告物	壁面直接設置		壁面の 1/2 以下	長さ=設置壁面の同一方向の長さ を超えない	道路上に突出させ ないものであるこ と、同一壁面に同 一内容は1個
	突き出し平行 配置		壁面の 2/3 以下 20m2 以下	長さ=設置壁面の同一方向の長さ を超えない	道路上に突出しないものであること
	突き出し垂直 配置		-	壁面から 1m 以上突出さない	上に同じ
屋上広告物	洋風屋根設置		-	縦=3m 以下 横=屋根幅の 2/3 以下	永久構造物 屋根面に直書しな いもの
	和風屋根設置		-	縦=2m 以下 広告物の上端が大棟 の高さを超えない 横=屋根幅の 2/3 以下	上に同じ
立看板			-	縦=2m 以下 横=1m 以下	掲出期間30日以 内 道路上に設置しな いこと
建植広告物		D 0 X 17-	30m2 以内	上端が地上から 6m 以下	著しい変形でない こと 上下二段以上の 複合でないこと
はり紙			1m2 以下	一辺 1m 以下	

1

重要地点対象

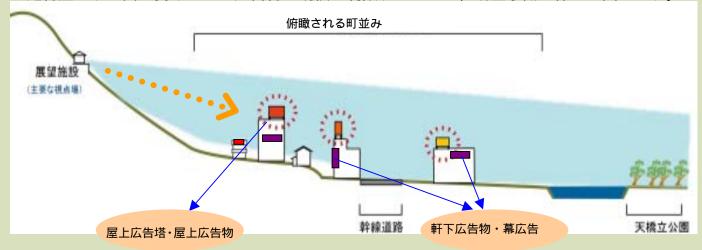
全域対象

代表的な視 点場から天 橋立を見下

俯瞰景

仰望景

天橋立や地 上から周辺を仰ぎ見る 建物屋上や壁面に掲げられた広告物の規模を制限することで、眺望景観の保全を図ります。



・俯瞰される建物の屋上の突出物は際立っ て見えます。

・壁面に掲げられた広告物の大きさに配慮す るなど、小さくみせるよう工夫します。

現行基準によるシミュレーション



- ・天橋立から府中、傘松公園方向をながめる 景観
- ・現行の許可基準にしたがって屋上広告塔を 配置した例
- ・現行基準は、広告物の高さ限度は建物の高 さの 1/3 以下で、上端の高さが地上より 46m 以下

広告物の高さを抑えたシミュレーション



- ・屋上広告物の高さや形態を工夫することで、 突出感を抑えることができます。
- ・シミュレーション対象の屋上広告塔は、基 準の一例によるもの。地上から 20m 以下、 幅は建物の幅 1/5 以下



・軒下広告物(壁面広告)事例:建物壁面における配置やデザインによ り、規模が小さくても効果的に見せることができます。



・幹線道路等に面して効果的に配置された例。

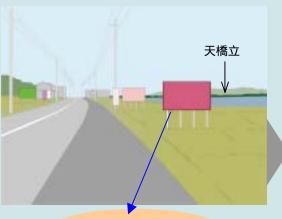
ルールの提案例

- ・天橋立への眺望を保全する ために、屋上広告物及び屋 上広告塔の掲示規模等を制 限する
- ・建物壁面に直接掲げられた 広告(軒下広告物)につい ては、盤面の大きさに留意 する。

道路沿道 道路から道路 方向をみる 移動景観

道路沿道

道路沿道に掲げられた建植広告物や一般広告塔の規模を小さくすることで、天橋立への眺望に配慮します。

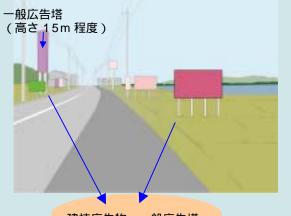


建植広告物・一般広告塔

・沿道に林立する野立広告物等は天橋立へ の眺めを遮るものとなっています。

現状

・道路から天橋立を眺める視点



建植広告物・一般広告塔

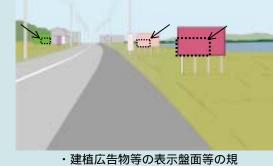
・野立広告物以外に一般広告塔(高さ30m以下)の広告物が建てられる可能性もあります。

現行基準によるシミュレーション



広告物の大きさを抑えたシミュレーション

- ・現行の許可基準にしたがって建植広告物を配置した例
- ・現行基準は、表示面積 30m2 以下、上端の高さが地 上より 6m 以下



・建植広告物等の表示盤面等の規模や高さ小さくすることで、天橋立への眺望に配慮します。

広告物の大きさを抑えたシミュレーション



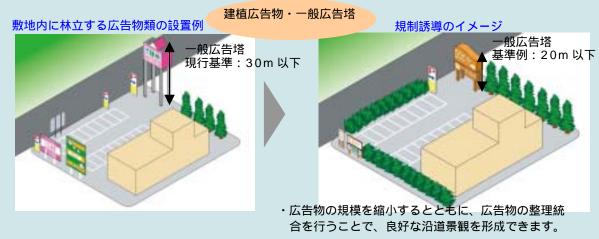
- ・広告物の規模を縮小することで、天橋立への眺望視野を広げることができます。
- ・基準例は20m2、高さ6m以下

ルールの提案例

【建植広告物等】

・道路沿道の建植広告物及び 一般広告塔の表示規模を制 限する。

幹線道路沿いの敷地内に設けられた広告物類を整理統合することで、良好な通り景観を創出できます。



現行基準によるシミュレーション 屋上広告物

現行基準 (高さ 2.5m 程度、 屋根幅 1/3 程度)

・現行の許可基準にしたがって屋上広告物を配置した例

・現行基準は、広告物の高さ3m以下、幅が屋根幅の 1/3以下



【建植広告物等】

- ・道路沿道の建植広告物及び 一般広告塔の表示規模を制 限する。
- ・同様な広告物は複数配置せず集約配置に務める。

【一般広告塔】

・道路に面して設置される広 告塔の高さや盤面等の規模 を制限する。

【屋外広告物の規制に関する提案基準の概要】

現行基準							基準例		
種類			面積	高さ・幅等	その他の用件		対象区域全域	俯瞰景観重点地区	
広告塔	路上広告塔	-11-		高さ=2m 以下 幅=高さの 1/3 以下		—	現行	現行	
	屋上広告塔	(S 1)		高さ-建築物の高さの 1/3 以下、上端 高さが地上より 46m 以下 幅=高さの 1/3 以下	永久構造物であること		現行	高さ=上端高さが地上よ	
	一般広告塔			高さ=30m 以下(木造は 10m 以下) 幅=高さの 1/3 以下	道路の交差点から20m以上はなれた箇所に 設置		高さ=20m以下(木造は10m以下) 幅=高さの1/3以下	高さ=10m以下 幅=高さの1/3以下	
軒下広告 物	壁面直接設 置		設置壁面 面積の 1/2 以下	長さ=設置壁面の同一方向の長さを 超えない	道路上に突出しないものであること 同一壁面に同一内容は1個	→	現行	現行	
	突き出し平 行配置		設置壁面 面積の 2/3 以下 20m2 以下	超えない	上記に同じ	現行	現行	現行	
	突き出し垂 直配置	To state	201112 13 15	壁面から 1m 以上突出さない	上記に同じ	→	現行	現行	
屋上広告 物	洋風屋根設 置			縦=3m 以下 横=屋根幅の 2/3 以下	永久構造物であること 屋根面に直描しないもの	→	現行	現行	
	和風屋根設置	會		縦=2m 以下 広告物の上端が大棟の 高さを超えない 横=屋根幅の 2/3 以下	上記に同じ	→	現行	現行	
立看板				縦=2m 以下 横=1m 以下	掲出期間30日以内 道路上に設置しないこと		現行	現行	
車体広告				縦=0.5m 以下 横=0.9m 以下	はめ込み式のもの 同一面に1個		現行	現行	
建植広告 物		D 8 3 37~	30m2 以内	上端が地上から 6m 以下	著しい変形でないこと 上下二段以上の複合でないこと	>	現行	上端が地上から6m以下 面積20m2以内	
へい垣広 告物			へい垣面 の面積の 1/2 以下	上端はへい垣の高さを超えない	二個以上並べて設置するときは上端が同一の 高さであること へい垣面に直描しないもの		現行	現行	
アーチ広 告物		read Control of the		縦=2m 以下	設置場所は繁華街またはこれに準ずる地域	→	現行	現行	
気球広告 物		i i		球形=直径 3m 以下 綱の長さ 45m 以下	ネット面に広告物を設置すること 補助網を用いること		現行	現行	
横断幕		8-6		縦=1m 以下	設置場所は繁華街またはこれに準ずる地域		現行	現行	
幕広告		36		幅=1.5m 以下 高さ=11m 以下	幕は布地を用いること	 →	現行	現行	